

平成29年度 佐久幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

- ① 体を動かし、みんなで遊ぶ子(体を育む)
- ② あいさつ、朗らか、笑顔の子(社会性を培う)
- ③ 一步踏み出す、輝く子(心を育む)

2. 本年度の重点目標

「情操豊かな人間性をそなえた心身共に逞しい子」

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	B
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修(資質向上への取組)	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会(モニター会)を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会(モニター会)等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・縦割り3人グループはうまく組まれていた。大切な関わりである。教育方針、小学校も中学校も大切なことはそう変わらないと改めて思った。小学校に入学してくるお子さんがスムーズに始められると良い。ランドセルなどを購入したお子さんが、入学ファッションショーをやる姿が報道されていた。お子様の晴れ舞台なのだと感じた。個々に支援を必要とするお子さんも増えているが、少しでも改善していくために幼稚園と小学校の連絡を密にしていきたい。
- ・このまま、佐久幼稚園の良い面は継続し、子どもが楽しく通える園にしてほしい。
- ・3代お世話になっているが、本当によくしていただいて満足です。
- ・35年前に自分も卒業したが、運動会は駒場公園でやっていた。3人の子どもがお世話になった。
- ・あと少しで卒業なので、思い切り佐久幼稚園でいい思い出を作ってほしい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・アンケートの結果から、実際に園に通わせてみて良かった点のNO1は先生の対応であった。この点は過去最高値を示したので、継続していきたい。また、それを発信することも相乗効果につながる。
- ・様々な面でPTAの活動を見直していきたい。